

第65回北九州医工学術者会議

参加無料

定員：40名

次世代研究分野の醸成に向けた 医・歯・工の連携

日時 2025. **11.14** 金 14:00~16:55



会場 北九州学術研究都市
産学連携センター2F 中会議室1
(北九州市若松区ひびきの2-1)



北九州医工学術者協会は1990年に北九州市が中心となり、学術、産業および行政の各分野における専門科の研究および交流を通じ、専門家の知識と産業界の高度な先端技術力を結集し、新たな学術環境の創造を図るとともに、地域に新しい産業・技術を創出することにより、地域経済の発展に寄与することを目的に設立されました。

今年度も昨年度に引き続き基礎研究から臨床研究に至るまで幅広い研究テーマが集まりました。学際横断的な議論が深まることを期待しております。若手研究者の育成を目的に優秀発表者の表彰を行いますので、皆さまの積極的な参加を心よりお待ちしております。

アクセス

【公共交通機関の場合】
JR 鹿児島本線
『折尾』駅下車

北九州市営バス
または
西鉄バス
折尾駅 → 学研都市ひびきの
※所要時間約20分

【車の場合】
北九州都市高速道路
黒崎出入口（黒崎・折尾
出口下車折尾方面へ）
または
北九州都市高速道路
東田出入口から黒崎バイパス
皇后崎ランプ

▶ 学術研究都市
※北九州都市高速道路
黒崎出入口からの
所要時間約20分
※小倉都心から所用時間約30分



◆主催／北九州医工学術者協会
◆共催／（公財）北九州産業学術推進機構

◆お問い合わせ

（公財）北九州産業学術推進機構＜FAIS＞

グリーンイノベーション推進本部 産学連携センター

〒808-0135 北九州市若松区ひびきの2番1号

TEL：(093) 695-3006 FAX：(093) 695-3018

<https://www.ksrp.or.jp/contact/iac/index.html>

右のQRコードより
お申込みください



第65回北九州医工学会
次世代研究分野の醸成に向けた医・歯・工の連携

■ プログラム

14:00～14:05 開会挨拶 北九州医工学会 会長 安細 敏弘氏

[一般講演1] 14:05～15:25 司会 九州歯科大学 池田 弘 [一般講演2] 15:35～16:35 司会 九州工業大学 和田 親宗

14:05～14:25 被介助者頭部位置の違いによる
介助者腰部負荷への影響

九州工業大学 大学院生命体工学研究科

前山 日向子

移乗介助動作による介護士や看護師等の介助者の腰痛が問題となっています。腰痛軽減のための被介助者の頭部位置誘導法は、定量的根拠が不足したまま経験的に使われています。そこで本研究では、介助者の腰部負荷量を用いて、頭部位置誘導法の妥当性を検証したいと考えています。

14:25～14:45

Cine-MRIを用いた咬筋の変化と咬合力との
関係性についての検討

九州歯科大学 大学院歯学研究科(歯科放射線学分野)

仁科 普

発表ではcine-MRIを用いて咬筋の変化から咬合の状態を明らかにしたいと考えています。テクスチャー解析により複数の指標で咬筋の変化と咬合力との関係に相関を認めました。MRIによる筋機能評価の有効性が示唆されたと考えています。

14:45～15:05

歯周病進行におけるインドールの効果
～*Treponema denticola*の視点から～

九州工業大学 大学院生命体工学研究科

森田 晶葉

歯周病は細菌感染による炎症性疾患で、日本では約半数が罹患し、全身疾患との関連も指摘されています。本発表では、重度歯周病と関わる*Treponema denticola*の病原性発現におけるクォーラムセンシング分子、インドールの役割について成果を報告します。

15:05～15:25

歯周病進行におけるインドールの効果
～*Porphyromonas gingivalis*の視点から～

九州工業大学 大学院生命体工学研究科

小野田 空

歯周病は細菌感染による炎症性疾患で、日本では約半数が罹患し、全身疾患との関連も指摘されています。本発表では、重度歯周病と関わる*Porphyromonas gingivalis*の病原性発現におけるクォーラムセンシング分子、インドールの役割について成果を報告します。

◆ 15:25～15:35 休憩

15:35～15:55

エナメル質の力学的性質を模倣した3Dプリント材料の開発

九州歯科大学 大学院歯学研究科(口腔再建補綴学分野・生体材料学分野)

松岡 欣毅

むし歯などで失われた歯質は、セラミックスなどで補われているが、エナメル質と同じ硬さをもつ材料は存在しない。そこで我々は、エナメル質と同等の硬さと丈夫さを備えた新材料の開発に取り組んでいる。本講演では、その新規3Dプリント材料を紹介する。

15:55～16:15

ポリマー含浸ハイドロキシアパタイトの開発と
生体模倣歯への応用

九州歯科大学 大学院歯学研究科(生体材料学分野)

松尾 実咲

ポリマー含浸セラミックス(PICN)は、エナメル質や象牙質に対して優れた力学的適合性を示すことから、歯質模倣材料として期待されています。本研究では、ハイドロキシアパタイト系PICNを開発し、生体模倣型人工歯への応用を目指します。

16:15～16:35

ベジチェックを用いた野菜摂取量評価と
口腔機能・食習慣の関連

九州歯科大学 地域健康開発歯学分野 助教

堀川 真実

若い世代における野菜の摂取量不足が指摘されていますが、関連する因子は明らかになっていません。今回、簡便かつ客観的に野菜摂取量を測定できるベジチェック®を活用して評価したところ、口腔機能、嚥下、認知能力および食習慣との関連がみられたので報告します。

◆ 16:35～16:45 審査

◆ 16:45～16:50 表彰

◆ 16:50～16:55 閉会挨拶

北九州医工学会
会長 安細 敏弘氏